

発行(年2回)
 市津地区社会福祉協議会
 【編集】広報部会
 【事務局】市原市下野 400-1
 【問い合わせ先】
 0436-37-1235

むらたがわ



『支え合い・助け合い、安心して暮らせる』

地域づくりを目指して』



市津地区社会福祉協議会

会長 丸山 喜久雄

市津地区の皆様、こんにちは。日頃、福祉事業に暖かいご支援ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。おかげ様で昨年十二月から開始した「市津まごの手」は、多数の支援員さんにご協力を頂き、利用会員数・支援活動数とも順調に増えてきました。

また、兼ねてより実施している、買い物ツアー・いきいきサロン・ひよこクラブも、好評を頂いております。

さて、市津地区は、高齢化率が38%でその率が高い地域です。数年後、超高齢化社会を迎えます。このような時代に、安心して暮らし続けることができる地域の形成は、とても大切なことです。まずは身近から、「困った時はお互い様」と手助けしてあげてください。小さな支え合いから大きな安心が生まれます。

市津地区協会は、これからも、皆様とともに、安心して暮らせる地域づくりを目指して参ります。変わらぬご支援・ご協力を、お願い申し上げます。

『地域のつながりの中で、ふれ合いと支え合いの』

ある街づくりを目指して』



市津地区町会長会

会長 山本 良一

現在、様々な地域課題がある中で、地域コミュニティの希薄化が大きな社会問題となっています。地区社会福祉協議会が実施する「通いの場」事業への取り組みと関係者の努力に敬意を表します。

また、地域社会の中での人間関係を含め地域力や仲間力が弱体化しつつある昨今、高齢化により日常生活に困っている方の「日常生活支援事業」が、地域住民の支えを得て開始されたことは、地域包括ケアシステムの確立に大いに役立っています。

町会長会としても、災害に強い街づくりと共に、ふれ合い・支え合いのある街づくりを目指して皆様と共に協力して参りたいと思います。

市東第一小学校区 小域福祉ネットワーク

市東第一小学校区小域福祉ネットワークは、発足6年目を迎えました。地域の皆様が、安全で安心して生活できる地域を目指して活動をして参りました。

安心生活見守り支援事業・児童の登校見守り・声掛け活動・いきいきサロン、通いの場事業の設置促進に向けた協力・広報紙「よつば」発行・フードバンクへの協力を行って参りました。

また、地域福祉支援事業として昨年度は、「餅つき大会」を保護者・児童・教職員・地域の方々総勢102名の参加で、行いました。好評で、今年も是非との声を頂き検討中です。

初心を忘れず、ご理解・ご協力を頂き、地域にそった活動をこれからも継続して参りたいと思います。 会長 大塩 順子



餅つき大会の様子

市東第二小区 小域福祉ネットワーク

市東第二小区小域福祉ネットワークが発足して7年目を迎えました。

推進委員22名で、3部会毎に活動がスタートしました。

市東第二小学校が閉校して2年が過ぎ学校との関わりがやや薄くなりましたが、子供達を思いやる気持ちは変わりません。学校の行事や要請にはできる限り関わって子供達との交流を図りたいと思います。

また、少子高齢化、核家族化が進む中、ネットワークとして安心して安全な地域づくりを行っています。当5町会では希望される方に対して定期的に話し相手として見守り訪問をさせていただいています。

他の地区のネットワークとも情報交換を図り、より良い地域づくりを目指しています。 会長 石田 陽司



昔の遊び「竹馬」体験

湿津小学校区 小域福祉ネットワーク

湿津小学校区小域福祉ネットワークは、「支え合い・助け合い」をモットーに緩やかな地域福祉活動を展開しております。

本年度は新たに「世代間交流事業」として、喜多地先の畑(2百坪)を借用し、小学生と小域福祉ネットワーク推進委員が共同でさつま芋の[作付け]から、[収穫]を計画しました。5月30日湿津小学校の2年生(103名)と大勢の推進委員がさつま芋の苗300本を植えました。秋の収穫がとても楽しみです。

また、マリーゴールドを植えたプランター50ヶを湿津小学校の茂原街道沿いに置きます。ご覧いただければ幸いです。

なお、「安心生活見守り支援事業」等は継続しておりますので、ご希望の方はご連絡をお願いします。

今後も皆様方のご支援・ご協力をお願い申し上げます 会長 近藤 敏子



さつま芋「作付け」

賛助会員募集

市津地区社協では、地域からの支援要請に応えるため、様々な事業を行っています。
 事業に使用される資金は、市原市社会福祉協議会からの補助金・交付金などで賄われていますが、急速な高齢化や生活上の課題解決には、まだまだ多くの事業を発展させていかなければなりません。

そのために、市津地区社協では、賛助会員制度を設け、会員として登録願ひ、会費を地域の福祉活動に限定して使用させていただいております。
 皆様方には、なにとぞ趣旨をご理解いただき、賛助会員としてご支援・ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

- ・【会費】
 年額 一〇千円
 (口数は問いません)
- ・【納入方法】
 町会長経由で地区社協へ

賛助会費は、次のような事業に使用させていただきます。

- * 独居高齢者への友愛訪問配布事業
- * 日常生活支援事業 (市津まごの手・買物ツアー)
- * いきいきサロン事業
- * 子育て支援事業 (市津ひよこクラブ)
- * 人材育成事業 * 研修事業

注意喚起

令和元年五月二十四日以降、福島県・高知県・茨城県・山梨県の各県内におきまして、「社会福祉協議会」を装った不審電話が発生しているとの通達がありました。
 「社会福祉協議会」を名乗る不審な電話等がありましたら市津地区社会福祉協議会事務所へお問合せいただくか、市原市社会福祉協議会へお問合せをいただきますようお願い致します。

町会紹介

「瀬又台町会の紹介」

瀬又台町会会長 平井 公貴

瀬又台町会は、昭和46年頃に東電不動産株式会社が、宅地造成工事・分譲販売してできた町会です。
 当町会は、外房線嘗田駅まで徒歩で五分から十分の通勤に適した場所です。現在、総世帯数は、250世帯です。
 平成22年に上水道の公営化・平成27年に「ふれあい会館」(自治会館)を新設し、サークル活動も活発です。そして、令和4年までに、下水道も公営化する予定です。
 最近、新築住宅の増加により、子供達が増えて嬉しいことです。町会は、子供達の事故防止・防犯対策など「安心・安全に住める街づくり」に以前から取り組み、現在も活動中です。
 (寄稿者 松岡貞和)

「活気ある地域社会」の維持を目指して

下野町会会長 鎗田 義夫

「下野町会」は、会員数38戸の小規模な町会ですが、市津支所・公民館そして市津地区社会福祉協議会事務所があり、市津消防署・市津運動公園にも隣接しており、利便性に恵まれています。
 これはかつて「市東村」と「湿津村」が合併した際に両村を繋ぐ県道「五井本納線」の沿線に「市津町役場」が置かれたことに起因するものと思っております。
 大多数の町会と同様に高齢化が進行している中で、唯一明るい話題があります。一昨年、移住等により、一挙に3世帯6人の未就学児童が増えました。この6人を含めて小中学生以下が16人となり、休日には町内で子供の声が聞こえるようになってきました。
 10年後、20年後の地域社会の形成は、現役世代の責務です。高齢化の進行は止められませんが、少しでも「住みやすい下野町会」を目指したいと思っております。

「市津ひよこクラブ」からのお知らせ

市津ひよこクラブは、お母さん同士の交流と子育ての不安を少しでも和らげられるための支援を目的に、市津公民館との共催で毎月第3金曜日10:00~市津公民館で年9回(4, 8, 1月を除く)実施しています。
 今年度より実施内容の見直しを行い、より子育て家庭を対象とした内容として、6月は【栄養士による幼児食づくり】11月は【パンマイスターによるパン作り】を行います。是非ご参加ください。(公民館だよりをご参照ください)
 また、引き続き、子育てに関する悩みや相談にのっていきます。小さいお子さんのいるご家庭に声掛けをお願いします。



市津地区 地域行事予定

8月18日(日)	市民祭り	潤井戸ふれあい公園
9月1日(日)	防災訓練	湿津小学校 市東第一小学校
10月13日(日)	市民体育祭	市津運動広場
10月27日(日)	福祉バザー	市津公民館
1月12日(日)	成人式	市津公民館

夏休み 小中学生

イベント情報

●青少年の集い ミニバスケットボール大会

日時：令和元年7月28日(日) 9時~開会式
 会場：ちはら台コミュニティセンター(開会式・女子会場)
 : 清水谷小学校(男子会場)
 対象：小学生男女
 主催：青少年相談員 市津支部

●夏休み課題お助け講座 ①

日時：令和元年7月27日(土) 午前10時~11時30分
 会場：市津公民館2階視聴覚室
 対象：地区内中学3年生
 内容：税について

●夏休み課題お助け講座 ②

日時：令和元年8月4日(日)
 午前10時~11時30分(地区内中学生全学年)
 午後1時30分~1時間程度(地区内小学生4,5,6年生)
 会場：市津公民館2階研修室
 内容：読書感想文の書き方
 その他：家族と一緒に参加もOKです。
 冷たい飲み物と記念品を用意しています。
 主催：青少年育成地区民会議